

泌尿器科専門医に聞く

富山ろうさい病院 泌尿器科部長

いしろう よしゆき
石浦 嘉之



H28年 新病院完成予想図

ぼうこうだつ しきゅうだつ 膀胱脱や子宮脱への新たな治療



子宮を摘出せずに小さな傷口で治す、メッシュ利用修復手術（TVM手術）は、従来の膀胱脱、子宮脱手術と比べ再発しにくいのが大きな利点です。

●膀胱脱、子宮脱とは？

女性骨盤底筋の緩みや出産に伴う損傷等によって加齢とともに膀胱や子宮など骨盤内臓器が膣口から体外に脱出することがあります。膀胱脱（図1）や子宮脱（図2）、直腸脱等を総称して骨盤臓器脱といいます。膀胱脱と子宮脱が合併している場合もあります。

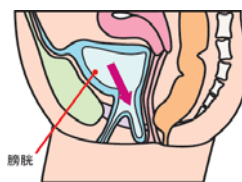


図1 膀胱脱

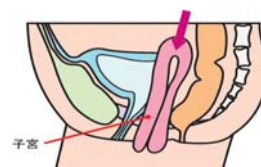


図2 子宮脱

●こういった症状があるの？

擦れて痛んだりするため、出血する、歩き恰好が悪くなる、安心して温泉に行けないといった問題があります。また膀胱が体外に脱出するために排尿困難や尿失禁、頻尿など引き起こします。

●これまではどうしていたの？

自然と改善することはありません。時間とともに、頻繁に脱出したり、押し込みづらくなったりします。従来は子宮を摘出して周囲の靭帯を締め上げる手術で修復していました。しかし再発率が高い（20-40%）、膣内腔が通常よりも狭くなり性行為が困難になる、排尿に影響をきたす、などの問題がありました。

●当院で行っているTVM手術について

ティファイエムしゅじゅつ

TVM手術は、2011年に保険診療として認可されました。メッシュ（図3の青い膜のようなもの）を膀胱の背側に留置して子宮頸部と固定することにより、子宮や膀胱を骨盤内にとどめることが可能となりました。大陰唇の両脇に5mm程度の小さな傷を4～6か所作成する必要があります。しかし従来の手術と比較して、子宮を摘出しないでよい、膣がいびつな形にならない、小さな傷口でなおる、再発しにくいなどといった利点があります。

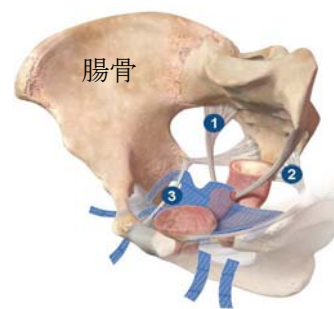


図3 メッシュ(膜)

TVM手術は熟練した手術手技を必要とし、限られた施設でしか行われていません。当院では手術に精通した医師が行っており、現在のところ再発はゼロです。また、術中の出血過多や術後感染などといった問題も生じていません。8日間程度の入院で対応しております。

症状にお悩みの方、気になる方は、是非、泌尿器科医師にご相談ください。

<健康診断部の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受けています。>

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特に仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

直通 0765・22-1354（平日9：00～16：00）

富山労災病院では、緊急に受診を希望される方の受付を行っています。

症状を自覚した時、夜間・休日の救急外来の時間まで待たずに来院してください。

事前に電話されるとスムーズに診療できます。

電話 0765-22-1280（病院代表）